

記入例

様式第1の別紙3-1<出願手続>(事業関連)

- 添付資料(事業計画書など)を援用して説明いただいても結構です。

●外国特許庁への出願の基礎となる出願番号: 特願2022-XXXXXXX

1. 外国特許庁への出願の動機・目的 (a. またはb. のいずれか該当する欄に記載)
a. 冒認対策商標出願の場合

(動機・目的) ※□をクリックしてチェックマークを入れてください。

外国における冒認出願を防止するため

重要ポイント! 目安として300字くらいはご記入されることをお勧めします

- b. 特許/実用新案/意匠出願および冒認対策商標出願以外の商標登録出願の場合
(動機・目的) ※以下に記述してください。

- 権利取得について、以下①～②の項目についてなるべく具体的に記入
 - 内容が出願予定国ごとに異なる場合は、国ごとに記入
- ①権利取得の動機
②事業の目的(模倣品対策、技術保護だけではなく出願予定国において事業を行う目的)

<文例>下記は上記①～②に対応して記載した1例です。必ずしも同様に記載する必要はありません。

弊社は〇〇処理する〇〇装置を日本で製造し、全世界で販売している。

①権利取得の動機: 一般に〇〇処理には長時間を要することが課題であるが、今回D1要素を付加することで、〇〇処理の効率化を実現した。この発明に係る特許を取得することにより模倣品の製造・販売を防止し、弊社の〇〇装置の市場占有率を大幅に拡大できると考えている。

②事業の目的

◆中国

特許取得による技術的優位性をアピールし、同国における販路拡大を図ることを目的とする。特に…

◆米国

2024年度中には日本から現地生産法人への製造移管を予定しており、同国での模倣品製造を防止し、販売機会ロスの撲滅・削減を図ることを目的とする。また…

◆欧州……

重要ポイント！目安として300字くらいはご記入されることをお勧めします

2. 出願（予定）国における事業展開計画（出願（予定）国を選んだ理由も含む）

※冒認対策商標出願にかかる申請の場合は、出願（予定）国を選んだ理由のみ記載

- ・事業展開計画について以下①～⑤の項目について、なるべく具体的に記入
- ・内容が出願予定国（補助金交付申請国のみで構わない）ごとに異なる場合は、国ごとに記入

- ①市場ニーズ・市場規模
- ②事業面の強み（販売・製造・調達・人材・人脉・設備・品質・コスト等）
- ③海外展開形態（製品輸出・現地法人での生産・現地企業によるライセンス生産等）
- ④事業展開計画（推進体制、推進スケジュールを含む）
現在どの程度まで計画が進んでいるか進捗がわかるように記入
- ⑤予想される売上高・利益額
・現地での販売実績等、事業展開計画を裏付ける資料がある場合は別途添付
・ガントチャート等事業展開計画の詳細を示す資料がある場合は別途添付可能
・投資機関等第三者の事業評価書がある場合は、その写しを別途添付可能

<文例> 下記は上記①～⑤に対応して記載した1例です。必ずしも同様に記載する必要はありません。

■中国

- ①市場ニーズ・市場規模：同国には当装置を必要とする〇〇関連企業が幾つかあり、約〇億円という大きな市場である
- ②事業面の強み：同国の〇〇社とは10年前から代理店契約を結んでおり、いくつかの現地顧客を有している。また、顧客からの品質評価も非常に高い。
- ③海外展開形態：20XX年〇月～〇月にかけて営業担当が既存顧客A社及び新規顧客候補B社を訪問し、商談を行う予定である。また同年〇月に〇〇で行われる世界最大規模の〇〇展への出展に向けて、社長直轄のプロジェクトチームを編成して準備をすすめている。出展後は代理店〇〇社と連携しながらフォローを行い、新規顧客の獲得へと繋げる予定。
- ④事業展開計画：弊社の同国でのシェアは現在約〇%であるが、当該特許に基づく新機能付加の効果により市場優位性が増し、〇%位まで拡大可能と考えている。売上高は〇〇億円、営業利益は〇〇億円を見込んでいる。また、…

■米国 ①市場ニーズ・市場規模：同国は当装置のニーズがここ5年くらいの間に高まってきた。

- ②事業面の強み・③海外展開形態：同国労働力を活用し、20XX年には〇〇装置の現地生産を計画している。これにより低コスト生産体制が構築でき、品質面だけでなく価格面でも競合他社に対して有利に展開できると考える。
- ④事業展開計画：20XX年春に現地法人設立の概略計画及びその検証は完了した。現在、生産担当の〇〇専務を責任者として、実施計画を作成中である。20XX年〇月までの許認可取得・工場建設着手により、20XX年度中の生産開始に間に合わせる予定である。
- ⑤予想される売上高・利益額：現地生産法人での売上高は〇〇億円、営業利益は〇〇億円を見込んでいる。また…

■欧州 ①市場ニーズ・市場規模：

3. 出願する技術、創作等もしくは出願する商標を活かした製品等の概要

- ①製品の用途・使用方法等を記入
- ②出願する技術・意匠等が製品のどの部分に活かされているかを記入
- ③製品のパンフレット等がある場合は、別途添付する

<文例>

本製品は、〇〇の技術において、〇〇する際に使用される。利便性向上の観点から、〇〇処理が速やかに行われることが好ましく、本発明の〇〇装置によれば、〇〇部分にD1要素を付加することで利便性の向上が図られる。また……さらに……

重要ポイント！目安として300字くらいはご記入されることをお勧めします

4. 出願の新規性、進歩性、創作性等（先行・類似調査の状況を含む。）

- ・先行技術調査の内容は少なくとも、1) 調査条件、2) 調査結果を示すこと
- ・上記先行技術調査は、下記の書類でも代用可
国際調査報告書(ISR)や国内出願の拒絶理由通知書又は特許査定通知等の写し
(ただし、補正をする場合はその補正内容を様式第1別紙2の3-4. 補正の内容等に明記すること。

※調査結果をこの欄に記入せず、別途、資料を添付する場合はその旨ご記入

<文例>

調査条件

- ①調査データベース：特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)
- ②調査種類：公開特許公報、特許公報、公開実用新案公報、実用新案公報
- ③調査対象範囲：19XX年〇月〇日～20XX年〇月〇日
- ④検索式：キーワード（例えば「〇〇装置」、「A要素」、「B要素」、…）やIPC分類、調査件数（スクリーニング件数）等
- ⑤調査実施者：弁理士〇〇〇〇（調査経験12年）

調査経験年数又は調査担当件数を記入

調査結果

文献1：特開〇〇〇〇-〇〇〇〇号公報 文献2：特開平〇〇-〇〇〇〇〇〇号公報

文献3：特開-〇〇〇〇-〇〇〇〇号公報、〇〇の技術において、〇〇する際に使

以下についても、可能な範囲でご記入

- ①調査結果の中で近い、また、類似と思われる特許・実用新案公報等の概要について段落番号や図番を明示して記載。なお、調査結果によっては、一般的な従来技術を示すものとなっても構わない。
- ②新規性等について、先行技術、先行意匠との相違点を詳しく記載こと)

文献1の要旨：

文献1には、…「A要素」、「B要素」及び「C要素」からなる〇〇装置が記載されている（段落[0012]～[0021]、図1及び図2参照）。また、文献1には、…

文献2の要旨：

文献2には、「D2 要素」を有する××装置が記載されている（段落[0024]及び図4参照）。また、文献2には、…

文献3の要旨：

文献3には…「D2'要素」を有する××装置が記載されている（段落[0040]及び図7参照）。また、文献3には、…

相違点：

文献1には、本発明の前提構成が記載されているが、「D1要素」が記載されていない点が相違する。文献2及び文献3には、それぞれ「D2要素」、「D2'要素」が記載されているが、本発明には「D1要素」が記載されている点が相違する。「D1要素」と「D2要素」、「D2'要素」とでは機能は共通するが、○○部分の形状が異なっている。また、…さらに、…

5. 過去における出願実績及び権利取得状況（国内及び外国）

- ・今回申請される案件は含まれない
 - ・出願国名、出願番号/公告（登録）番号、出願日/取得日等を記入
 - ・多数ある場合、主要な権利 5 件程度を記入
 - ・実績がない場合には「なし」と記入

■日本特願 20XX-012345 出願日：20XX年3月3日

特許第0000000 登録日：20XX年3月3日

■米国 特許 00000000 出願日：20XX年7月1日

■ 欧州特許 00000000 出願日: 20XX年8月1日

他 5 件（国内 4 件、海外 1 件）

6. その他アピールしたい点（具体的に記入してください。）

例：・第三者による認定（例：地域未来牽引企業、J-Innovation HUB）

- ・出願に関連する研究開発内容に対する表彰・取材等、競争的研究費・各種助成金等の受給・活用、情報発信等
 - ・出願に関連する研究開発内容に対する展示会・イベント等の実施、ライセンス契約の締結、コンソーシアムの設立等
 - ・スタートアップによる出願に関連する事業の実施（スタートアップの設立予定含む）

今回の申請案件に関するアピール（競争的研究費の獲得や研究開発内容に対する表彰等。結果を問わず申請の事実だけでも加点になり得ます。）があれば記入してください。

2022 年度「採択〇〇研究推進事業〇〇型 総額 〇〇円

2023 年度 [申請]JSPS 科研費（不採択）

2023 年度 [入賞]○○ビジネスプランコンテスト